



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行 齋藤 庄司
編集者 沢田 光広
TEL 019-622-5021
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2012.12.10 第1452号

拡大キャッチコピー 「新しい仲間づくりを 皆の力で」 「一緒に解消しませんか、 あなたの疑問。 加入ってます」

第23回平和環境岩手県センター定期総会

平和に生きる権利、環境を守る方針確立

総選挙、脱原発の闘いに全力を上げよう

平和環境岩手県センターは、第23回定期総会を12月1日(土)10時から、盛岡市・岩手労働福祉会館において開催した。



「総選挙・脱原発の闘いに向け団結ガンバロー」

小選挙区は個人名 比例代表は社民党

投票日12月16日

第46回衆議院議員選挙が12月4日公示、16日投票の日程で展開されている。今選挙は、原発推進か脱原発か、改憲か護憲か否かなどの選択や、東日本大震災の復旧・復興、貧困と格差の是正、平和と民主主義を守り国民本位の政治を目指すうえで大切な選挙。別掲の社民党推薦候補はもとより、安全・安心な社会を目指す候補者の当選に向けて選挙戦を進めよう。

岩手1区 伊沢 昌弘(社・新) 65歳 社民党岩手県連合代表 (連絡先) 019-624-1500

秋田2区 石田 寛(社・新) 65歳 社民党秋田県連合幹事長 (連絡先) 018-833-7777

東北比例代表 菅野 哲雄(社・元) 64歳 社民党宮城県連合代表 (連絡先) 022-223-3081

東北比例代表 山名 文世(社・新) 64歳 社民党八戸総支部副代表 (連絡先) 017-776-5665

平和センター第23回定期総会では、齋藤副議長の開会挨拶で始まり、議長団に藤澤代表(高教組)と菊池代表(国労盛岡地本)を選出し、代表員は63人中46人の出席、委任状提出は8人であり、総会の成立要件が満たされているという報告のもと、第23回定期総会の成立が宣言された。

幹事を代表して挨拶に立った豊巻議長は、福島県平和フォーラムが用意した貸し切りバスで飯館村・南相馬市を視察。車内で渡された線量計の警戒音が飯館村に入ったところから鳴り、数値は高くなり、緊張が高まった。南相馬市は津波と原発のダブル災害で痛ましい風景。10万人が避難生活を余儀なくされている。

11月24日盛岡国労会館で盛岡運輸協議会定期委員会が開催されました。委員会は、青森運輸分会の伊瀬谷尚孝委員を議長に選出し、議事に入り、最初に佐藤議長が挨拶。続いて地方本部、東日本本部協議会代表からの挨拶を受け経過報告、運動方針案の提案と進みました。

地方運輸協議会定期委員会 安心・安全な車両の提供を 高橋清光氏を新議長に選出

11月24日盛岡運輸協議会定期委員会が開催されました。委員会は、青森運輸分会の伊瀬谷尚孝委員を議長に選出し、議事に入り、最初に佐藤議長が挨拶。続いて地方本部、東日本本部協議会代表からの挨拶を受け経過報告、運動方針案の提案と進みました。

役員改選では、高橋清光(青森運輸分会)さんを新議長に選出、見直し要求の組織化、労働条件改善を目指していくことを確認しながら散会しました。役員体制三役は次の通り。

当面の主な日程 12月16日 第46回衆議院議員選挙投票日 12月19日(盛岡) 第3回地方本部執行委員会 12月22日(盛岡)

地方本部「交渉委員・職能別協議会代表者会議」 1月12日(盛岡) 盛岡支部旗開き及び本部オルグ 1月13日(青森) 青森支部旗開き及び本部オルグ

岩手県交運労働協会は11月12日、制度・政策要求の一環として岩手労働局と「行政懇談会」を開催。交運労働協側から柴谷議長をはじめ9人、労働局側からは高橋監督課長をはじめ3人が出席、国労からは菊池執行委員が参加した。

最後に柴谷議長が「規制緩和が労働条件・安全を脅かしているだけに、根本的な課題解決が重要。本省へも上申を」と要請し終了した。

「時が経つのは早いものである。2012年も師走となり、日めくりのカレンダーの枚数も残り僅かとなった。3・11東日本大震災から1年9

事故関係では、外注化による人的ミスとして、ノ関駅構内でのコック扱い不備、小牛田運輸区におけるLV調整棒の調整ミス、気仙沼駅構内における燃料油漏れなど外注化施策における要員不足などによる問題点についても報告を受けました。

運動士からは、「落葉対策として空転・滑走を防止するため、セラジェット、砂の積載車両はあるが混用しての運

なっている」との指摘に対し「高速ツアーバス事故以降、国交省も変化。今後も法令遵守を徹底させていく」代行運輸事業における労働条件の不透明さについては「問題意識はある。必要により個別指導したい」と述べた。また、就業規則不備に対する指導強化、過当競争を禁じたタクシー労働者の賃金体系順守と指導徹底についても求めた。

高橋 清光(青森運輸分会) 副議長 佐藤 英雄(一関運輸分会) 湯沢 等(盛岡運輸分会) 事務局長 川原 昭(報告 川原 昭)

### 第17回東日本本部 マラソン大会

# 盛岡地本チームが2連覇

## 個人部の佐藤優気選手(盛岡・家族)が優勝

第17回東日本本部マラソン大会が11月10日(土)に皇居外周マラソンコース(東京)で開催され、盛岡地本チームが昨年に続き優勝し2連覇を果たした。

大会は、11時30分から桜田門の時計台前で開会式、高野委員長挨拶、競技説明を受け、昨年の駅伝の部優勝の盛岡地本、吉田選手が選手宣誓し開会式を終了。12時から個人部の部(51人参加)、13時から駅伝の部(16チーム参加)の日程で健脚を競った。

個人部の部には、盛岡地本から5人が参加、佐藤選手(家族)が見事優勝、他の4選手も健闘し10位、13位、16位、47位の順位となった。

駅伝の部では、1区は佐藤選手がトップで2区は八嶋選手に棒を渡すと3区は佐藤選手、4区黒井選手、5区高橋選手、6区吉田選手とトップを守り1時間15分28秒で長野Aチームに49秒差をつけゴール、2連覇を達成した。

表彰・閉会式は、場所を楠公銅像前に移し行われた。選手の前にお疲れ様でした。今年も家族として一関運輸分会の佐藤英雄さん(ご子息、優気(24歳))さんから参加していただいた。

成績・タイムは次の通り。

▽1区(5キロ) 佐藤 優気(家族) 15分22秒(区間賞) 2区(2・5キロ) 八嶋 昌二(青森運輸区分会) 9分47秒 3区(2・5キロ) 佐藤 隆文(一関工務分会)

▽4区(2・5キロ) 11分8秒 黒井 恒夫(盛岡施設分会) 9分34秒 5区(2・5キロ) 高橋 幸治(盛岡電気分会) 10分40秒 6区(5キロ) 吉田 雅美(盛岡電気分会) 18分57秒(区間賞) 個人参加者成績) 5キロ 第1位 16分22秒 佐藤 優気(家族) 第10位 22分24秒 村上 敏光(青森運輸区分会) 第13位 23分12秒 佐々木 義仁(盛岡運輸区分会) 第16位 23分57秒 花田 長蔵(北上工務分会) 第47位 31分41秒 梅沢 昇(盛岡貨物分会)



5区の高橋選手からトップで棒を引き継ぐ最終6区の吉田選手(盛岡地本チーム)

11月9日、11日、第49回護憲大会が山形県山形市で開催されました。岩手県から参加したのは、平和環境県センター・社民党・岩教組・全農林・国労から各1人、そして高教組からの2人で、合計7人でした。

私が参加した第1分科会「地球環境・脱原発に向けて」の結論は、「原発ゼロの政策を確定すること、再稼働を認めず継続すること」です。福島第1原発事故は、福島第1原発事故は、放射能による環境汚染は人々の故郷を奪い、生活基盤や雇用も奪っています。「生

環境を子どもたちの未来へ引き継ぐためにも、私たちは福島現状を知り、理解して、もつとも脱原発を訴え続けなければなりません。

ず、欠陥機オスプレイの配備や低空飛行訓練で国民は墜落の恐怖にさらされています。橋下大阪市長や石原前東京都知事による右翼的な政治の

主義か否か、政治はもとより、国民一人ひとりの立場が問われています。国政選挙を通じて、これからの日本をどうしていくのか、しっかりと

主権が作られています。非正規労働者は増大し、国民の格差と貧困はますます拡大しているなかで、原発推進か脱原発か、改憲か護憲か、新自由

11月22日、青森市の青森県労働福祉会館において青森県交通労働協会の第20回定期総会

第20回青森県交通労働協定期総会(40人参加)が開催された。総会議長には佐藤氏(運輸労連)が選出され、議事に入っ

た。冒頭、山内議長(運輸労連)が「私たちの悲願である交通基本法は国会で成立しな

かったが、地域の再生・活性化のために引き続き成立を目指す取り組みを強化する」と挨拶した。

続いて、来賓の東北交通労

協の菅原事務局長から「規制緩和に伴い我々の労働条件は極めて厳しくなった。交通基本法の成立はもろろん、制度政策要求の実現に向け組織の総力で取り組む」と挨拶があり、東北運輸局青森支店の丹

藤主席専門官と連合青森の石田会長から事業再構築に向け取り進む決意と利用者の安全・安心を守るために日夜奮闘している感謝の言葉と衆議院選挙での勝利のために頑張ってほしいとの連帯の挨拶を受けた。

その後、2011年度の政策・交通環境改善要請や交通シンポジウムの開催などの活動経過と決算報告が満場一致で承認された。さらに、交通基本法の早期成立と課題である規制緩和問題に対し、交通労働者として声を発し、社会的地位の向上と組織の強化・拡大を目指す2012年度運動方針を確立し、最後は再任された山内議長の冒頭で団結願を三唱し、第20回定期総会を終了した。総会終了後懇親会が行われた。

青森支部 阿保 光春

# 原発のない環境を子どもたちの未来へ

第49回護憲大会(山形県) 地方本部書記長 佐々木 力

環境を子どもたちの未来へ引き継ぐためにも、私たちは福島現状を知り、理解して、もつとも脱原発を訴え続けなければなりません。

ず、欠陥機オスプレイの配備や低空飛行訓練で国民は墜落の恐怖にさらされています。橋下大阪市長や石原前東京都知事による右翼的な政治の

主義か否か、政治はもとより、国民一人ひとりの立場が問われています。国政選挙を通じて、これからの日本をどうしていくのか、しっかりと

主権が作られています。非正規労働者は増大し、国民の格差と貧困はますます拡大しているなかで、原発推進か脱原発か、改憲か護憲か、新自由

11月22日、青森市の青森県労働福祉会館において青森県交通労働協会の第20回定期総会

第20回青森県交通労働協定期総会(40人参加)が開催された。総会議長には佐藤氏(運輸労連)が選出され、議事に入っ

た。冒頭、山内議長(運輸労連)が「私たちの悲願である交通基本法は国会で成立しな

かったが、地域の再生・活性化のために引き続き成立を目指す取り組みを強化する」と挨拶した。

続いて、来賓の東北交通労

協の菅原事務局長から「規制緩和に伴い我々の労働条件は極めて厳しくなった。交通基本法の成立はもろろん、制度政策要求の実現に向け組織の総力で取り組む」と挨拶があり、東北運輸局青森支店の丹

藤主席専門官と連合青森の石田会長から事業再構築に向け取り進む決意と利用者の安全・安心を守るために日夜奮闘している感謝の言葉と衆議院選挙での勝利のために頑張ってほしいとの連帯の挨拶を受けた。

その後、2011年度の政策・交通環境改善要請や交通シンポジウムの開催などの活動経過と決算報告が満場一致で承認された。さらに、交通基本法の早期成立と課題である規制緩和問題に対し、交通労働者として声を発し、社会的地位の向上と組織の強化・拡大を目指す2012年度運動方針を確立し、最後は再任された山内議長の冒頭で団結願を三唱し、第20回定期総会を終了した。総会終了後懇親会が行われた。

青森支部 阿保 光春

## 交通基本法・規制緩和問題に 交通運輸労働者の声を発しよう

### 第20回青森県交通労働協定期総会

11月22日、青森市の青森県労働福祉会館において青森県交通労働協会の第20回定期総会

第20回青森県交通労働協定期総会(40人参加)が開催された。総会議長には佐藤氏(運輸労連)が選出され、議事に入っ

た。冒頭、山内議長(運輸労連)が「私たちの悲願である交通基本法は国会で成立しな

かったが、地域の再生・活性化のために引き続き成立を目指す取り組みを強化する」と挨拶した。

続いて、来賓の東北交通労

協の菅原事務局長から「規制緩和に伴い我々の労働条件は極めて厳しくなった。交通基本法の成立はもろろん、制度政策要求の実現に向け組織の総力で取り組む」と挨拶があり、東北運輸局青森支店の丹

藤主席専門官と連合青森の石田会長から事業再構築に向け取り進む決意と利用者の安全・安心を守るために日夜奮闘している感謝の言葉と衆議院選挙での勝利のために頑張ってほしいとの連帯の挨拶を受けた。

その後、2011年度の政策・交通環境改善要請や交通シンポジウムの開催などの活動経過と決算報告が満場一致で承認された。さらに、交通基本法の早期成立と課題である規制緩和問題に対し、交通労働者として声を発し、社会的地位の向上と組織の強化・拡大を目指す2012年度運動方針を確立し、最後は再任された山内議長の冒頭で団結願を三唱し、第20回定期総会を終了した。総会終了後懇親会が行われた。

青森支部 阿保 光春

## 職人の減少で 国内産業の空洞化 「2012佐高信文化塾」

12月1日岩手労働福祉会館で第3回目の佐高信文化塾が、熟長の佐高信さんとTBS日曜朝放送の「サンデーモーニング」のコメンテーターでお馴染みの法政大学・社会学部長の田中優子さんの対談形式で開催され、辛口のトークを期待して120人が参加。選挙や原発、PPP問題等が江戸時代と現代の比較からの視点での対談となった。

戦争は国を貧しくする。という観点から江戸時代から現代までの職人さんの話を聞き、産業改革を国内で行うことにより、沢山の職人が育ち、職能が高まる。そのためには社会的な背景が必要であり、それが江戸にはあった。国内は産業の空洞化が進み、職人の数が激減している。一旦いなくなると育つ背景がなければ職人はいなくなってしまう。

今のJRの技術継承にもつながる話だと思ひ、鉄道開通から脈々と受け継いできた鉄道人としての気構え技術を若い社員に伝えていこうと決意させた対談でした。

盛岡支部 佐々木研司

# ウィンターキャンペーン2012

以下の取引のご契約・お預入れを頂いた方から 抽選で1,200名様に「ろうきんオリジナル カタログギフト(1万円相当)」プレゼント!

巻頭に東北の商品・体験施設を集めた「東北復興支援企画」が掲載されています。

- 対象取引と抽選権
- 定期預金 キャンペーン期間中の定期預金残高増加額5万円ごとに1口(上限20口)
- 積立型預金 財形預金またはエース預金 年間積立額5万円以上の新規契約ごとに1口(上限20口) 年間積立額3万円以上の増額契約ごとに1口(上限20口)
- フリーローン (メンバーズ/プレスト) 20万円以上の新規契約(返済期間1年以上)につき1口(上限1口)

\*キャンペーンのプレゼントは、いずれも個人のお客様が対象となります。 \*マイプラン(カードローン)は抽選プレゼントの対象ではありませんので、ご了承ください。 \*抽選権は、対象取引1件につき1口付与されます(対象取引ごとに上限があります)。 \*2013年1月中旬に抽選を行い、当選されたお客様へご連絡します。 \*抽選対象取引は、当金庫が自動的に抽出しますので、ご応募の必要はありません。 \*定期預金残高には特別金利定期預金(ファーストキープ2012等)の残高は含みません。 \*抽選プレゼントは、お1人につき1つとし、重複抽選はありません。 \*店頭にて各商品の説明書をご用意しています。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。 \*抽選プレゼントは、総合課税(一時所得)の対象となります。 \*店頭にて各商品の説明書をご用意しています。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。

<問い合わせは> ☎0120-1919-62 http://www.tohoku-rokin.or.jp

キャンペーン期間 11/1 THU ▶ 12/28 FRI

